

ふぁみちえん支援利用期間について

ふぁみちえんの支援は、親子交流の自立（卒業）を目指すため、支援方法ごとに利用期間の上限を設けることとしました。

本ルールは2026年度より導入し、各ケースの次回更新時から順次適用します。

① 見守り支援

支援拠点 利用期間上限

はないと 初回登録から2年間。他の拠点支援へ移行できます。

はんだっこ 初回登録から3年間。ただし利用できるのは小学校入学前まで。

キドキド 初回登録から3年間。ただし、はないとから移行した場合は移行後2年間。

おむすび 初回登録から3年間。他の支援拠点と並行しての利用も可能です。

※体調や発達面で配慮が必要な場合は個別に相談します。

※兄弟で利用する場合は、一番年下のお子さまの年齢を基準とします。

※拠点での受け渡し支援からの卒業にあたり、父母のみでの受け渡しに不安がある場合は、安心して移行できるよう、数回程度、支援員が見守る前で受け渡しを行うことができます。

② 見守り支援終了後

・キドキドでの受け渡しのみ見守りなし支援（利用期間上限1年間）。

・親子交流フリープラン

・連絡調整支援

③ 親子交流フリープラン

実施場所

利用対象

名駅「はないと」

小学校6年生まで

岡崎「みんなのおうち連尺」

小学校6年生まで

半田市「はんだっこ」

小学校入学前まで

桑名市「にこにこ」

小学校入学前まで

利用期間上限は3年間です。

④ 連絡調整支援

期間上限は2年間です。

※卒業に向けて父母のみで連絡調整を行うことに不安がある場合は、「LINE グループ支援」を利用することができます。

父母と支援員の3人でLINEグループを作成し、支援員が連絡調整のやり取りを見守り、必要に応じて、円滑な連絡調整のための助言や声掛けを行います。

父母のみで連絡調整ができるようになった段階で、支援員はLINEグループから退出し、卒業となります。

⑤卒業

- ・利用状況に応じて、どの段階からでも卒業することができます。
- ・利用期間内であっても、支援不要と判断される場合は卒業をお願いすることがあります。
- ・利用期間を超えての継続は原則として行いません。

